ー にいがた青年海外協力隊を育てる会 会報紙 ー
The News Letter of The Supporting Organization of J.O.C.V. NIIGATA

なじらね.jp

なじらね 秋 どっとじぇーぴー

平成 28（2016）年 9 月 30 日（金） 発行 - 第 16 号 -

【発行人】「にいがた青年海外協力隊を育てる会」 会長 羽賀 友信 ／ 事務局長 横山 容司郎
The Supporting Organization of J.O.C.V. NIIGATA
【事務局】〒950-2012 新潟県新潟市西区小針台1-15 株式会社 アルファブライト 内
Tel. 025-234-1500 , Fax. 025-234-1002 , E-mail n-sodaterukai@alpha-bright.co.jp
URL http://n-sojocv-najirane.com
【題 字】藤田 美枝子（桃水） （※「なじらね」とは，新潟弁で「元気ですか？」の意味）
【編集人】広報文化専門委員会 山田 規央

The Supporting Organization of J.O.C.V. NIIGATA

- NAJIRANE Headlines -

【巻頭言】「なじらね. jp」第16号の発行に寄せて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
【壱】平成28年度（第8回）総会の報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
【弐】マグサイサイ賞授賞式に参加して ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
【参】本県出身のJICAボランティア（JV & SV）が任国へ赴任！
（平成27年度4次隊，平成28年度1次隊） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
【四】本県出身JICAボランティアによる近況報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 － 7
【五】映画「クロスロード」上映会 in「アフリカンフェスタ」・・・・・・・・・・・ 7
Information，壮行会&慰労会，広告，編集後記 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

にいがた青年海外協力隊を育てる会 検索

公式ホームページ随時更新中！ *Check it out !!*

【巻頭言】 「なじらね.jp」第16号の発行に寄せて
設立から今日まで ～「育てる会」について考えること ～

当会 相談役（新潟県青年海外協力協会 事務局長）
井口 昭夫（いぐち あきお）

平成二十年，育てる会は発足した．その一年前，現青木顧問から「新潟にも育てる会を作らないか」と打診があった．そこで当時の新潟県青年海外協力協会（以下「OB会」と略）会長であった藤田さんから，組織作りを依頼された．期限は一年間．月に一回，県下からOB会の主要なメンバーが集まり，他県の育てる会を参考に話し合いを持った．なかなか大変な作業ではあったが，協力隊がより社会から認知され，活動が活性化し，帰国隊員の社会復帰のお手伝いができるような組織を目指して，みんなで知恵を出し合い，やっと発足会までこぎつけた．

さて，「育てる会」のキーワードは「地域」．この八年間でどれだけ協力隊の事が地域に認知されるようになってきたのか？人によって答えは様々であろう．ただ，これだけは言える．ホームページや機関誌をご覧いただければ分かるが，「育てる会」は着実に活動を積み上げてきている．ひとえに横山さんを始めとする事務局の熱意が，ここまでの足跡を残す原動力になった．忙しい中，プライベートな時間を削り続けている活動には頭が下がる．

現在，多くの会員はOB会員でもある．以前は，「育てる会の会員は，OB会員から，より「地域」の方に広がっていってほしい．」と考えていた．しかし最近は，まず私達OBが先頭になって，それぞれの地域の中で身近な隣人に協力隊活動を知ってもらう努力をすることが大切なことだと考える．それと同時に「育てる会」の活動として，広報活動をより推進していく必要があろう．また，各OBも協力隊活動で学んだことを生かしてそれぞれの地域のために，「地域を元気にする取り組み」ができたら素晴らしいと思う．それを「育てる会」とOB会とが連携し，応援していけるシステムができたらいい．まだまだ「育てる会」は発展途上である．最後に会の設立以前から協力いただいている（株）アルファブライトには，本当に感謝したい．

【壱】　平成28年度（第8回）総会開催の報告

去る6月18日（土）15時より新潟会館において，「にいがた青年海外協力隊を育てる会」第8回総会を開催しました．議事の内容は昨年度の活動報告及び決算報告，今年度の活動計画と予算を審議して頂きました．昨年の総会で議決させて頂きました，会費の口座引き落としに関し，金融機関と協議してまいりましたが，単独では困難であることから，（一社）協力隊を育てる会にお願いしていくことになりました．今年度の活動は映画「クロスロード」の上映を見附市や小千谷市で開催すること，また新規派遣隊員に配布するオリジナルの手ぬぐいを作成することなどを決議して頂きました．

第2部は公開講演会として，(株)キタック代表取締役であり現 新潟県国際交流協会理事長の中山輝也氏を講師に迎え，「地域間における国際協力」と題してご講演頂きました．これまでの東アジアにおける国際的な技術交流のご経験，そして今後の国際交流の在り方についてご講演頂きました．

第3部はJICAボランティア活動報告会を実施．現役隊員の中川真紀子さん（平成27年度2次隊／キルギス共和国／理学療法士）と会場をSkypeでつないで現地から活動報告をして頂き，帰国隊員の冨井愛さん（平成25年度1次隊／音楽／モンゴル国）に馬頭琴の演奏も交えて活動報告をして頂きました．

第4部では，新隊員（平成28年度1次隊）の壮行会を兼ねて懇親会を行ないました．多くのOVや会員が参加して下さいました．また，活動資金を補うため募金をさせて頂き，計35,833円の貴重な寄付金が集まりました．このお金はこれからの活動に使わせて頂きます．心より御礼申し上げます．

最後に，引き続きライオンズクラブやロータリークラブ，更には青年会議所の例会等での講演をするにあたり，是非クラブをご紹介して頂きたくお願いします．更に，広告協賛社を募集しています．1年間「なじらね.jp」とホームページに広告を掲載し，たったの1万円です．「なじらね.jp」をご覧頂き，参考にして下さい．

（ 文 ： 横山 容司郎 ／ 写真 ： 山田 規央 ）

中山氏のご講演

冨井OGの馬頭琴生演奏

スクリーンに映し出される中川隊員

※会の様子の写真は当会ホームページをご参照！

【弐】マグサイサイ賞授賞式に参加して　　from

2016年8月31日，フィリピンの首都マニラ市内の式典会場にてマグサイサイ賞の授賞式が行われ，青年海外協力隊(JOCV)を含めて個人・団体計6つが受賞されました．翌9月1日には受賞者による講演が行われました．日本からの受賞は6年ぶりで，団体としての受賞は初めてです．昨年50周年を迎えたJOCVの，現地の人々と共に生活し共に働くという「顔が見える国際協力」という点，そしてアジア地域の経済・社会発展への貢献が高く評価された様です．

授賞式では，JICAからは北岡理事長と，隊員代表として久保田賢一さん(昭和55年度1次隊/フィリピン/理数科教師)と田中里奈さん(平成24年度2次隊/バングラデシュ/感染症対策)が登壇され，記念メダル等の授与が行われました．翌日は柳沢理事，久保田さん，田中さんによるJOCVのボランティア活動に関する講義・紹介が行われました．

今年の1月，天皇皇后陛下が来比されたり，2月にはフィリピンにおいても50周年式典が開催されたりと，注目を浴びる機会に恵まれました．今回のマグサイサイ賞受賞についても同様で，日本の家族や友人からだけでなく，配属先や知り合いのフィリピン人からもお祝いの言葉を頂きました．累計41,000人以上がJOCVに参加している中で，こういった行事に参加させて頂けたのは非常に光栄だと思っています．私の残りの任期はあと10か月(2017年7月まで)ですが，JOCVの一員として，そして現地の人と一緒に生活している一人として，今後も何かしら貢献することができたら，と思っています．（※同賞についての解説は次ページ下部参照）

（ 文・写真 ： 羽田 達矢，JV平成27年度1次隊/フィリピン/防災・災害対策 ）

会場内のパネル

授賞式典の様子

授賞式典出席者の集合写真

【参】　本県出身のJICAボランティア が任国へ赴任！（平成27年度4次隊，平成28年度1次隊）

本県出身の青年海外協力隊(JV)・シニア海外ボランティア(SV)の平成27年度4次隊(H27-4)新隊員1人(JV 1人)が平成28年3月下旬に，平成28年度1次隊(H28-1)新隊員6人(JV 5人＋SV 1人)が平成28年6月下旬にそれぞれの任国へと出発しました．新隊員は訓練所での約70日間の派遣前訓練終了後に本県に帰郷し，それぞれ3月17日，6月24日に新潟県庁および新潟県国際交流協会等に表敬訪問を行ない，両日共に当会からは横山事務局長が同伴致しました．これに併せ，直近に帰国していた本県出身隊員も同行し，帰国報告を行ないました．

また，毎回恒例の新隊員壮行会＆帰国隊員慰労会を新潟県青年海外協力協会(JOCA新潟)と共催で実施しました．当会としては，任国で活躍する本県出身隊員の活動を地域ぐるみでサポートしていけるように取り組んでいきます．　表敬訪問に参加した各隊員を紹介します．

新隊員（H27-4）		任国	職種
JV	①遠見 翔 さん	ネパール連邦民主共和国	環境教育

①任地の人々のニーズに応え，少しでもサポートできるように活動していきたい．

帰国隊員（1月帰国）JV：H25-3　竹内 洋さん（パプアニューギニア独立国／コンピュータ技師）
H25-3　細井 美沙子さん（ラオス人民民主共和国／看護師）

新隊員（H28-1）		任国	職種
JV	①畔地 千晴 さん	ブータン王国	看護師
	②大野 美幸 さん	ベリーズ	音楽
	③塚本 夢野 さん	ジャマイカ	観光
	④本間 彩子 さん	ヨルダン・ハシェミット王国	美術
	⑤結城 巳貴 さん	ブラジル連邦共和国	青少年活動
SV	❶西野 重雄 さん	パラグアイ共和国	獣医・衛生

①途上国の医療を学び，様々なことを経験してきたい．
②現地にとけ込んで楽しんできたい．
③一年中熱い国なので，新潟の雪国文化を紹介してきたい．
⑤一日一日を大切にし，一生懸命活動してきます．
❶今までの経験を活かしてきたい．

帰国隊員（6月帰国）JV：H25-4　藤村 真美子さん（バングラデシュ人民共和国／コミュニティ開発）
H26-1　大井 麻耶加さん（ホンジュラス共和国／保健師）

地図と国旗は「世界地図・世界の国旗」HPより引用　（　http://www.abysse.co.jp/world/index.html　）

（文：山田 規央 ／ 写真：横山 容司郎）

【マグサイサイ賞】 フィリピンのラモン・マグサイサイ大統領を記念して創設された賞で，アジア地域で顕著な社会貢献活動等をした団体や個人に贈られ，アジアのノーベル賞とも言われます．過去の受賞者にはマザーテレサ，ダライ・ラマ14世をはじめ，アジア全域から300以上の個人や10を越す団体が受賞しており，緒方貞子元JICA理事長も1997年に受賞しています．他の日本人受賞者は黒沢明，中村哲など．

小林 由衣　Ms. Yui KOBAYASHI , JV
（平成27年度2次隊 ／ ウズベキスタン共和国 ／ PCインストラクター）

Q1;任国や任地はあなたにとってどんなところですか？

みなさん，中央アジアや「〇〇スタン」と聞くと，怖いイメージありませんか？私はありました．でも，実際行ってみると，ウズベキスタンに限っては，とっても治安が良いんです！スリや強盗に遭ったという話もめったに聞かない，女性の一人歩きも全然怖くない，夜10時過ぎまで子供達が外で遊んでいる，そんな安全な国です．（もちろん，だからといって過信してはいけませんが．．．）その代わり，ものすごい警察国家．地下鉄で，駅で，道端で，，，職務質問とパスポートと荷物のチェックをされます．面倒くさいけど，これがあるから治安が保てるのだと思っています．　ウズベキスタンの人たちは，おしゃべりが大好き！いつでもどこでも仕事中でも(！)おしゃべりに夢中です．外国人が珍しいので，私にも興味津々です．バザールのおばちゃんからタクシーのおじちゃんなどあらゆる人々が，私の名前や年齢や家族構成，年収まで(！)ありとあらゆる個人情報を聞き出そうとしてきます(笑)　とても人懐こい人々で街を歩けば「ゆい，仕事はどう？」「ゆい，最近見なかったけど，元気だった？」など，とにかく物おじせず声をかけてくれます．　シルクロードのオアシス都市で，夏は50度，冬は-20度にもなりますが，厚いレンガに囲まれた家の中はとても快適．長い歴史を持つ，果物や野菜にも恵まれた，優しく人懐こい人々のいる国です．

Q2;現地の人々の生活状況はどんな様子ですか？

インフラ(ガス，水道，電気)は整っていて，多少の断水や停電はあるものの，生活に支障はありません．TVや冷蔵庫，洗濯機などの家電の他，家にインターネット回線もあり，苦労せず生活できています．　給料は少なくても，安くて美味しくて新鮮な食べ物と昔ながらの家があるので，みんな生活に満足しているようにみえます．国家事業で綿花を栽培しており，綿の収穫は多くの人が駆り出されます．　多民族国家なので，言語環境がとても複雑です．私の住んでいる町はカラカルパク人が多く，ウズベキスタン人，カザフ人，ロシア人などもいますが，メイン言語はカラカルパク語です．町によって住んでいる人種の構成が違い，それぞれ母語が違うので，ほとんどの人は数か国語が話せます．会話も，片方がロシア語で話し，片方がカラカルパク語で話し，お互い別言語を話しながらも会話が進むなど，日本では考えられない光景が見られます．

Q3;あなたはどんな活動をしていますか？

日本の小中学校にあたる学校で，子供達にパソコンを教えています．情報科という科目があり，専門の先生もいるのですが，先生自体がパソコンのスキル，教えるスキルともに低いため，先生のサポートをしています．また，希望する子供達にクラブ活動として日本語を教えています．

市場の新鮮な野菜と果物

Q4;これまでに嬉しかったこと，辛かったことは？

学校のパソコン教室をゲームセンターとしか考えていない生徒が多く，授業に参加してくれない事．自分たちの写っている写真をパソコンで加工する授業なら，楽しく学んでもらえるのではないかと思い，やってみたのですが，写真上映会にしかならず，授業に参加してもらえませんでした．どうしたら授業を楽しんでもらえるか，授業に参加してもらえるか，を常に考えています．　言語でも常に躓いています．私の町では，日本で頑張って勉強したウズベク語が全然通じません．現地で，参考書もない現地語を一から勉強するのは，やっぱりしんどいです．「何を言っているのか，全然わからない」と言われる度に，悲しくなります．

Q5;今後の予定や抱負を教えてください．

1年目はサポートだけでなく，実際にメインで授業もさせてもらいました．そこで，授業の難しさ(子供達のモチベーションの低さや教科書の難解さ)を実感しました．その経験を元に，私が帰国した後に，先生が使い続けられるような補助教材づくりをしたいと思っています．先生も，「情報科」という新しい分野をどう教えて良いのか困っている状況なので，子供達に教えやすく，子供達が興味を持つような，プレゼン資料やプログラムを，指導の仕方とともに現地の先生に託したいと思います．

世界遺産サマルカンドのレギスタン広場

明間 篤夫　Mr. Atsuo AKEMA , SV
（平成27年度3次隊 ／ 南アフリカ共和国 ／ 溶接）

Q1;任国や任地はあなたにとってどんなところですか？

南アフリカ共和国の首都プレトリアから高速バスで7時間位かかる田舎町ナマハレ(北部リンポポ州)にあるモパニ南東職業訓練校サーバルダンカンキャンパスで活動をしています．自分の任地は国内で一番暑い地域で知られています．現在こちらは冬シーズンで，朝方は寒いくらいですが，日中は快適です．自分の住居はナマハレから約10km位離れたパラボーラ市にあり，毎日車で通勤しています．自宅から車で5分程度の距離にクルーガ―ナショナルパーク(国立公園)パラボーラゲートがあります．象，バッファロー，シマウマの群れを約5mの近さで見られたことは圧巻でした．食生活では，日本食を除けば食事に困ることはありません．ほとんどの食材，肉，野菜，フルーツ(品種は違うが，日本で入手できる果物)がスーパーマーケット(ショッピングセンター)で手に入ります．治安は他の地域に比べれば安全な方です．生活しやすい任地であると思っています．

Q2;現地の人々の生活状況はどんな様子ですか？

黒人(ブラックアフリカン)の主食はパップです．メイズ(トウモロコシ)の白い粉をお湯に溶いて，さらに粉を加え，餅状(餅ほど粘り気はない)にします．クッキングオイルでトマトと野菜を炒め，別の鍋でチキン又は牛肉を脂で揚げておかずのできあがり．パップと一緒に戴きます．私は昼食にパップを食べています，約20ランド(140円位)．学校の生徒達には，パップは高価です．毎日は食べられません．　自分の任地では，ぼろを着て物乞いをする人達を見ることはそう多くありませんが，貧富の差は確かに存在します．白人(アフリカーンス)は高価な車を運転しています．裕福な黒人も高価な車を運転しています．しかし，多くの黒人は徒歩移動かミニバスやバスで移動しています．白人の大人や子供が裸足でスーパーに買い物に来ています．自分にとっては驚きであったが，彼等の習慣のようです．

Q3;あなたはどんな活動をしていますか？

モパニ南東職業訓練校サーバルダンカンキャンパスで溶接実技指導，製缶製図の指導，数学問題の解答等をレベル2の生徒(5グループ)に行っています．1グループ約35名の男女，合計180名位が在籍しています．生徒の年齢は18～37歳と幅が広くなっています．本校は3年制の学校で，生徒は学校周辺の住宅(二人で共同生活)を借りて生活し，そこから通学しています．生活は苦しく，十分な食事を取れない生徒も多く，空腹を我慢しています．しかし，皆笑顔で勉学に励んでいます．時々，生徒に奢ることもありますが，教室内の清掃を頑張った生徒にのみです．清掃も授業の一環です．しかし，生徒は積極的に清掃しません．頭が痛い問題です．日本の生徒も同じでしょうか？

Q4;これまでに嬉しかったこと，辛かったことは？

辛かったことは，生徒に貸し与えた，製図道具が返ってこなかったことや，自分の知らないうちに道具，工具が無くなってしまったときに辛かったと感じました．しかし，溶接実習や製図の時間が終わった時に，生徒から感謝の言葉を受けた時には嬉しかった．学期末のテストが終わった時に，職場の同僚から感謝の言葉と握手を求められた時は大変うれしかった．

Q5;今後の予定や抱負を教えてください．

生徒がもっと分かりやすく，理解できる授業に改善していきたい．年度末に行われる国家試験(進級試験)で自分の生徒の落第者が出ないようにできるだけの支援を行いたい．

外山 大　Mr. Masaru TOYAMA, JV（OV）
（平成26年度1次隊 ／ スリランカ民主社会主義共和国 ／ コミュニティ開発）

Q1;任国や任地はあなたにとってどんなところでしたか？

いきなり外からやってきた得体の知れない日本人でも温かく迎え入れてくれるとても優しい国でした．困っていることがあればすぐに相談に乗ってくれますし，困ったことがなくても毎日電話をかけてきたり…．世話焼きで心配性な人ばかりでしたが，何度も助けてもらいました．

Q2;現地の人々の生活状況はどんな様子でしたか？

のんびりしていて，ゆったりと毎日を過ごしていました．朝にカレーを食べ，昼にカレーを食べ，そして夜にもカレーを食べる…カレーが大好きな人たちです．

また，仏教を非常に大事にしており，スリランカでは月に一度「ポヤ・デー（満月の日）」にお寺にお参りに行きます．もちろん毎日お参りに行く人もいます．生活の中に仏教が深く溶け込んでいるのです．

スリランカの人たちは争いを好みません．そのため，喧嘩やいさかいなどはめったにありません．仏教国なだけあって広い心を持っているのかもしれません．

Q3;あなたはどんな活動をしていましたか？

地域の農家さんを対象に農業指導を行っていました．スリランカは日本と同じく稲作が主流で，スリランカ渡航前に地元の長岡で1年間の研修を受けました．その時の経験はスリランカでも非常に役に立ちました．また，地域の学校で日本語教室も行っていました．挨拶や自己紹介を頑張って覚えてくれる姿はとても微笑ましく，嬉しかったです．

Q4;任期中，嬉しかったこと，辛かったことは？

農業指導に行った先の農家さんから「また来て教えて欲しい」と言われた時にはとても嬉しく活動が報われたような気がしました．たくさんのスリランカの人たちが助けてくれたので，辛いことはありませんでした．楽しく2年間を終えることができました．　辛い，というよりも大変だったのは「成功した姿をイメージしてもらえない」ことでした．今の状況よりもよくなって欲しくて農業指導に行くのですが，特にスリランカ国内でも貧しい層に入ってしまう人たちには，たくさん実がついて，それが売れて，貯金ができて，という姿をイメージしてもらうのはとても大変でした．

Q5;今後の予定や抱負を教えてください．

支えてくださった皆様のためにも恩返しになるような仕事をしていきたいです．

Democratic Socialist Republic of Sri lanka

横山 勉　Mr. Tsutomu YOKOYAMA，日系社会SV（OV）

（平成26年度1次隊／ボリビア多民族国／高齢者介護）

Q1;任国や任地はあなたにとってどんなところでしたか？

私の任地であるボリビアの「コロニーサンファン」は，日本人移住地であり，約750名の日本人の方々が暮らしています．日本の伝統文化を日本以上に大切にし，二世・三世へと受け継ぎながら，ボリビア社会にしっかりと根をはり，力強く生きている移住地の方々との生活は，私にとってかけがえのない大切な故郷となりました．

念願のウユニ塩湖に

Q2;現地の人々の生活状況はどんな様子でしたか？

サンファン移住地の方々は，広大な土地を有し，稲作，牧畜，養鶏など，家族あげて営んでいますが，その規模は，半端ではなく，家族以外に，現地の多くのボリビア人も雇いながら，大々的に営んでいます．

Q3;あなたはどんな活動をしていましたか？

サンファン移住地も，日本と同様に高齢化を迎え，日系一世の方々も，すでに80歳を超えるなど，その高齢者の福祉の基盤づくりが急務となったことから，移住地全体の福祉施策等を検討・整備することが，主な活動となりました．

体操教室を毎週水曜日に開催

Q4;任期中，嬉しかったこと，辛かったことは？

とにかく，移住地あげての歓迎で，任期中は，多くの方々から食事の誘いや，お米・野菜・卵など，自宅でとれたものをいただくなど，大変，有難かったです．

Q5;今後の予定や抱負を教えてください．

南米への移住については，あまり知られていない（ブラジル移住は有名）ことも多く，今後，多くの方々に，南米移住の歴史などについて，活動内容と併せて報告をしたいと考えています．数年後には再度，ボリビア（サンファン移住地）を訪れたいと，計画しています．

ボリビア人の家族と一緒に昼食

Plurinational State of Bolivia

【さまざまな生活文化ルポ】第11弾

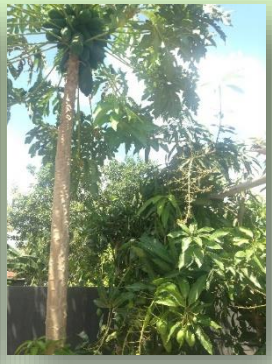
任国の“健康増進法”

現地リポーター：鈴木 裕子（すずき ゆうこ），JV
平成27年度1次隊
インドネシア共和国
公衆衛生

近年，インドネシアでは日本同様に生活習慣病が大きな問題となっています．インドネシア人は食べることが大好きな上，甘い物や揚げ物を好んで食べますし，歩くことを好まず少しの距離でもバイクや車を使い移動することが多く，これらの生活習慣が大きく関係していると思われます．政府も生活習慣病対策に力を入れ始め，食事や運動，禁煙等の生活改善を推進しています．毎週金曜日は「運動の日」となっていて朝勤務前に体操（エアロビ？）を行います．そしてこの日，官公庁ではスポーツウエアでの出勤，勤務が許されています．現在私は保健診療所で活動を行っていますが，職員だけでなく地域住民や患者さんも体操に参加しています．ノリノリの激しい音楽に合わせ身体を動かし，時には「ハッ！」と声を出したりけっこう激しい体操ですが，みなさん笑いながら楽しく身体を動かしています．ただ，体操の後はお菓子がセットになっていて少しどうかと思いますが，これもインドネシアらしいのかなと最近は思うようになりました．また健康増進や治療の目的で伝統的なハーブを取り入れることも推進しています．庭に植えられているパパイヤや簡単に手に入るにんにく等身近な植物を用いるため日々の生活に根付いているようです．

そしてインドネシア人はよくしゃべり，よく笑います．家の前に座って近所の人や友人とお茶を飲んだりお菓子を食べながら，ゆるゆるとおしゃべりを楽しんでいる姿をよく見かけます．家の前の道を知り合いが通りかかると「寄っていきなよ！」と大きな声で声をかけます．あまーいお茶とお菓子や揚げ物がお供でこの点は健康的とは言えませんが，たくさん話してたくさん笑う習慣は元気の秘訣なのではないかと思います．

金曜日の体操



庭のパパイヤとマンゴー

木の下でおしゃべりと食事を楽しむ

【五】　映画「クロスロード」上映会 in「アフリカンフェスタ」@アオーレ長岡

6月4日（土）アオーレ長岡で開催されましたアフリカンフェスタにおきまして，当会主催で「クロスロード」を上映させて頂きました．普段は観光客や長岡市を訪れる視察団や学生を対象に長岡市の紹介ビデオを流しているシアターで約50人が入る会場でした．午前と午後2回の上映で20数名（協力隊OV以外）の来場者で，想定よりも少なかったのですが，中には上映会終了後も熱心に協力隊の応募条件や実情をスタッフに聞いてくださった方もいらっしゃいました．長岡市と実行委員会のご厚意で会場使用料を無料にして頂き，またパンフレットにも記載して頂いたことに感謝いたします．

これからも映画「クロスロード」というツールを利用しながら，地道に啓発活動を続けていきたいと思っています．

（ 文・写真 ： 横山 容司郎 ）

県北からも，青年海外協力隊を応援しています！
ケーブル・ハーネス加工，電装品・制御盤の組立
株式会社 興栄電機
KOUEI Electric Co.,ltd.
〒959-3121
新潟県村上市佐々木577
Tel. 0254-62-5653, Fax. 0254-62-5650
URL　http://www.koueielectric.jp

電気が使える『あたりまえ』私たちが支えます．
電気工事，土木工事，とび土工，機械器具設置，消防設備工事
胎内電建工業株式会社
〒959-2657
新潟県胎内市江上966
Tel. 0254-43-5345, Fax. 0254-43-5389
URL　http://tainaidenken.com

《広告料：年間1万円》
↓
・当会ホームページ
・「なじらね. jp」

- INFORMATION -

1. 平成28年度JICAボランティア秋募集のご案内

平成28年9月30日(金)～11月4日(金)の期間，青年海外協力隊／日系社会青年ボランティア(20-39歳)，シニア海外ボランティア(40-69歳)の志願者の募集が行なわれます．応募に関する詳細は，下記へご連絡またはJICA公式HPでご確認下さい．

《体験談＆説明会》◆上越会場：平成28年10月6日（木）10:00～　上越市市民プラザ 第4会議室
◆新潟会場：平成28年10月10日（月）14:00～　新潟日報メディアシップ　6階ナレッジルーム
◆長岡会場：平成28年10月15日（土）14:00～　長岡市国際交流センター

【お問い合わせ】JICA新潟デスク・和田さん　Tel. 025-290-5650 / Fax. 025-249-8122，JICA公式HP　http://www.jica.go.jp

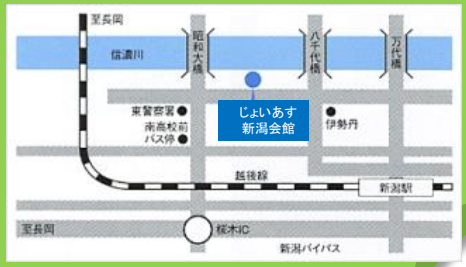
2. 平成28年度JICAボランティア家族連絡会のご案内

日時：平成28年11月5日(土)，13:30～（予定）
会場：じょいあす新潟会館　1階「カトレア」　⇒
（新潟市中央区幸西3-3-1　Tel. 025-247-9307）
内容：JICAボランティア事業説明，帰国隊員報告会，OVと留守家族の懇談
懇親会（17:15～，同会場にて，4,500円）　※お誘い合わせ可．

【お問い合わせ】当会事務局まで（会員には後日ご案内を郵送）

3. 2017（平成29）年版カレンダー販売のご案内

来年のカレンダーを販売致しますので，購入後希望の方は当会事務局までご連絡お願いします（下記参照）．



新潟県から派遣される新隊員の壮行会および新潟に帰国した隊員の慰労会は年4回（3月，6月，9月，12月）開催．案内はMLで配信！

慰労会 ☆ 壮行会

（写真：横山 容司郎 ）

協賛募集広告

私達は新潟から青年海外協力隊を応援しています！
金属加工のことならABCにお任せ下さい

相場産業株式会社
〒955-0814
新潟県三条市金子新田1691-5
Tel. 0256-35-7460, Fax. 0256-35-7462
URL　http://www.abc-tool.co.jp

私達は協力隊応援団です！
果物のことは大野青果に！

新潟市中央卸売市場
大野青果 株式会社
代表取締役　大野 修
〒950-0114
新潟県新潟市江南区茗荷谷711
Tel. 025-257-6220, Fax. 025-257-6219

感動と夢，そして感謝

21世紀の生涯学習を推進する
株式会社アルファブライト
〒950-2012
新潟県新潟市西区小針台1-15
Tel. 025-234-1000, Fax. 025-234-1002
URL　http://alpha-bright.co.jp

協賛広告
募集中！

世界にはばたこう，日本の心！

そやま接骨院
院長　楚山 恭男
〒940-1165
新潟県長岡市水梨町1106-15
Tel. & Fax. 0258-22-3654

静かな森と美しい庭園
新潟五頭温泉郷 村杉温泉 環翠楼（かんすいろう）
〒959-1928
新潟県阿賀野市村杉温泉
Tel. 0250-66-2131
Fax. 0250-66-2553
URL　http://kansuirou.jp

2017年版カレンダーを販売します！

●**仕様**：　A4版フルカラー14頁，壁掛け型
●**価格**（単価）：　700円，3部以上で500円
※送料は当会負担
●**購入方法**：　当会までお申し込み頂くか，直接お買い求めに来て頂きます．
詳しくは事務局（担当 渡辺）までEメールか電話にてご連絡下さい．

“ボッチャ”(Boccia)を知っていますか？パラリンピック競技の一つで，リオでは“火ノ玉ジャパン”が初の銀メダルを獲得しましたね．私は病院の患者さんたちとチームを作り，毎年県大会に参加しています．2年前には審判の資格も取りました．4年後には東京オリパラです．障がい者のスポーツについて，より多くの皆様に知って頂きたいと思います．　（พริกไทย）